

# MOBILE SPACE by 三協フロンテア

## 第45期 中間報告書

平成25年4月1日～平成25年9月30日



## 基本理念

### 目的（存在理由）

#### 社会への貢献

わたしたちは  
社会に役立ち、人々の心や暮らしを豊かにし、  
よって社会に貢献することを目的とします。

### 基本的価値観（不変の主義）

#### 1 開拓の精神

わたしたちは、失敗を恐れず、情熱を持って、  
未開の地（新しい分野）に挑戦することを誇りとします。

#### 2 不断の努力

わたしたちは、弛みない努力によって、  
困難に打ち勝ち、目的の実現に至ることを喜びとします。

#### 3 誠実な意志

わたしたちは、わたしたちを支える人々\*に対し、  
揺らぐことのない誠実な意志によって行動します。

\*「わたしたちを支える人々」とはステークホルダー  
（お客様、サプライヤー、株主・投資家、従業員とその家族など）を指します。

## 株主の皆様へ



平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。  
ここに第45期中間（平成25年4月1日～平成25年9月  
30日）報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

当第2四半期連結累計期間（当上期）における日本経済は、景気の回復基調が顕著となり、設備投資も拡大へと転じました。その一方で、円安による輸入資材の価格上昇やエネルギー価格の高騰によるコスト増が各種商品やサービスの価格に転嫁されつつあり、加えて来年施行される消費税率引き上げの影響も懸念されるなど、先行きは予断を許さない状況となっています。

このような状況の中、当社は、旺盛な需要に対応するため、新工場建設および既存工場の設備増強によって生産

能力の強化を図り、全国的なレンタル・販売の需要拡大に対応してきました。

当社のポリシーである「必要な時に必要なスペースを必要な設備とともに提供する」を実践することで、当社のユニットハウスは、従来の仮設建設市場のみならず、ここ数年来開拓を続けてきた本建築市場、不動産市場においても、その優位性を十分発揮できるものと確信しています。今後も、「建築の工業化」という当社のコア技術をさらに高めていくことで新たな市場の開拓を推進していきます。

今後とも創業当時から受け継がれてきたフロンティアスピリッツ（開拓の精神）を原点に、社会に貢献する会社となることを目指していきます。

### 当上期の業績について

ユニットハウスのレンタルは、公共投資予算の増加に加え、民間の設備投資の増加の影響により、全国的に出荷が好調に推移しました。また、前期から取り組んでいるエアコンシステムや電気配線と電気設備をユニットハウスと一体化した配電システムによって、ユニットハウスの付加価値を向上させることで引き続き受注拡大に努めました。トランクルームにおいても、新たに25店舗を出店し、売上拡充を図りました。

ユニットハウスの販売では、新規展示場の出店に加えて、既存店舗のリニューアルも積極的に行い、販売チャネルの拡充に努めるとともに、販売能力の向上を図り、オフィ

スや店舗など本建築物件の受注に注力しました。

また、供給体制の強化を図るため、つくば工場を新設し、平成25年9月に稼働を開始しました。

上記の結果、当上期の連結売上高は12,467百万円（前年同期比6.7%増）となりました。

利益面においては、営業利益1,476百万円（前年同期比13.0%減）、経常利益1,435百万円（前年同期比19.7%減）、四半期純利益749百万円（前年同期比28.0%減）になりました。

なお、レンタル資産の増強を行った結果、当上期末における総資産は、前期末に対し3,314百万円増加し43,615百万円となりました。また純資産の合計額は、前期末に対し465百万円増加し20,506百万円となりました。

今後とも、リユース可能なユニットハウスの特長を活かし、期間限定で空間を必要とするニーズを開拓し、業績の拡大に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

平成25年12月

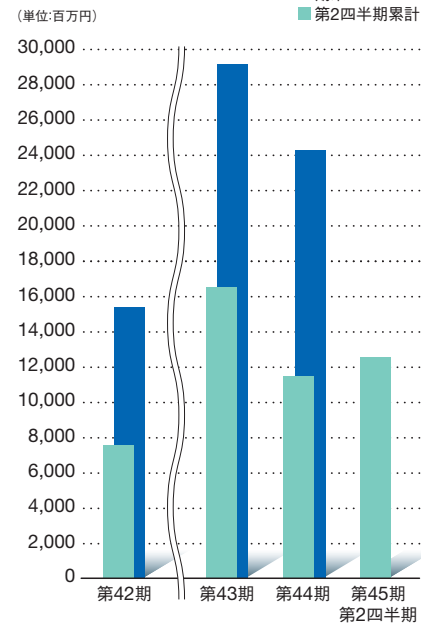
代表取締役社長 長妻貴嗣

## 業績ハイライト

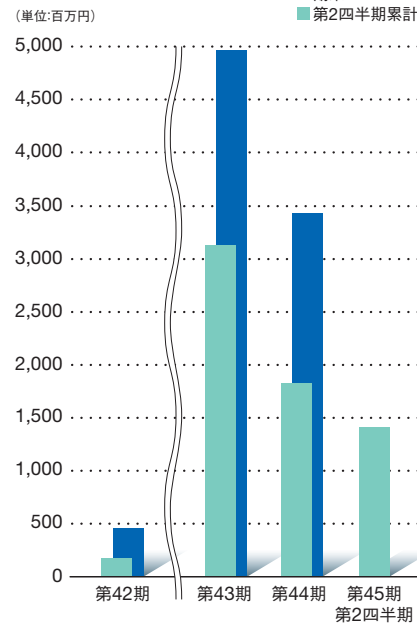
区分	期別	第42期 (平成23年3月期)	第43期 (平成24年3月期)	第44期第2四半期 (平成25年3月期)	第44期 (平成25年3月期)	第45期第2四半期 (平成26年3月期)
売上高(百万円)		15,381	29,234	11,688	24,095	12,467
経常利益(百万円)		454	4,907	1,787	3,438	1,435
当期純利益(百万円)		170	2,469	1,040	2,069	749
1株当たり当期純利益(円)		7.72	111.70	46.54	92.82	33.73
総資産(百万円)		26,290	35,312	36,375	40,300	43,615
純資産(百万円)		16,531	18,717	19,317	20,040	20,506

(注) 第43期より、連結決算を採用しています。第42期以前は、単体決算であり、参考値として掲載しています。

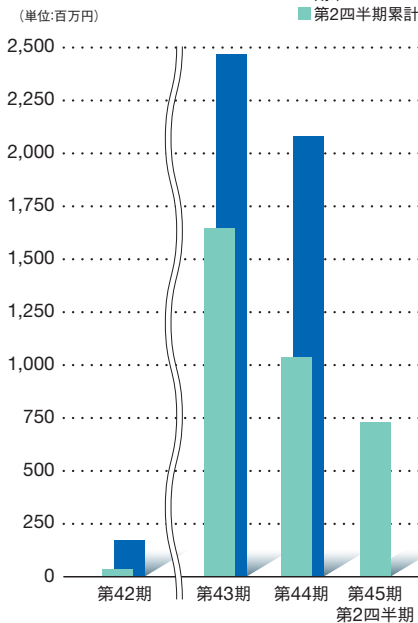
### 売上高の推移



### 経常利益の推移



### 当期純利益の推移



#### 免責条項

本報告書で記述されている通期の業績見通しなど将来についての事項は、予期しない経済状況の変化などさまざまな要因の影響を受けるため、その結果については当社が保証するものではありません。

## 各事業の概況

### ユニットハウスのレンタル

1日からでもレンタル可能  
建設現場からイベント、仮設住宅まで。  
必要な期間に最適な空間を提供します。

ユニットハウスのレンタルについては、建設着工高増加の影響も受け、各地で出荷が好調に推移しました。また、エアコンや電気設備などの付帯工事獲得に向けた営業の強化などにより、受注単価向上に努めました。

これらの結果、当上期のレンタル料収入は7,143百万円(前年同期比7.0%増)となりました。

今後も、建設現場向けのシェア拡大と新たなレンタル需要の創出を目指し、新規顧客獲得に向けた営業活動を強化していきます。



建設現場事務所



宿舎

### ユニットハウスの販売

オフィス、店舗、教育・保育施設、倉庫など  
全国のさまざまなシーンで  
ユニットハウスが活躍しています。

前期に引き続き、展示場の出店を推進し、販路の拡大を図る一方で、不採算店舗については、事務所のリニューアルや店舗を移転するなど、収益力の向上に努めました。さらに、オフィスや店舗などの本建築物の営業強化に努めました。

これらの結果、当上期の販売収入は5,040百万円(前年同期比5.3%増)となりました。

今後も市場ニーズに合わせた製品開発に取り組むとともに、展示販売の強化や販路の拡大を目指していきます。



ベーカリー



社員寮(室内)

Topic 1 平成25年9月、つくば工場稼働開始

当社は、茨城県土浦市につくば工場を新設し、ユニットハウス等の生産・供給能力の一層の向上を図っています。

当社は旺盛な需要に応えるため、ユニットハウス等の生産・供給能力向上を目指し、各生産拠点へ積極的な設備投資を行っています。当上期は茨城県土浦市につくば工場を新設し、平成25年9月から稼働を開始しました。

つくば工場は、常磐自動車道の土浦北I.C.にほど近い工業団地(テクノパーク土浦北)に位置し、敷地面積約47,800㎡に幅60m、長さ210mの工場棟を設けています。新工場は、溶接ロボットを使用した一連の溶接ラインなど自社設計の充実した生産設備を有しています。また、ひとつの工場棟にすべての生産工程を集約することで、生産効率の向上を実現しました。

生産開始後、徐々に生産数の増加を図っており、当期中には本格的な量産体制を整備する計画です。



敷地空撮写真



工場棟の外観。奥行5mの庇を設け、雨天時の作業性も考慮しています。

溶接ラインをはじめとした自社設計の生産設備を充実。運搬効率向上や作業環境を考慮した設備も随所に配置しています。



Topic 2 全国に展示場120店舗、トランクルーム176店舗を展開

当社は、平成25年9月30日現在、ユニットハウスを販売する展示場を120店舗、トランクルームのレンタルサービスを提供するU-SPACEを176店舗、計296店舗を全国展開しています。当上期、新たにオープンした36店舗の中から、千葉支店をご紹介します。

千葉支店

平成25年6月、千葉支店が新たに総合展示場としてオープンしました。千葉都市モノレール穴川駅から徒歩1分、高速京葉道路と国道16号が交差する好立地に位置します。オフィスは自社製品であるQuoシリーズを採用し、モデルルームとしての機能も果たしています。また、リユースシリーズ、倉庫シリーズだけでなく、当社の新たな提案であり、すべての設備ユニットを備えたeパッケージ等、幅広いラインアップを取り揃え、当社の“最新製品”を一堂に展示するものとなっています。すでに多数のお客様にご来場いただき、好評をいただいています。



千葉支店



案内図



商談スペース

Topic 3 総勢310名の社員が第2種電気工事士資格を保有

当社では、設備事業の強化を目的として、第2種電気工事士資格取得に全社を挙げて取り組んでいます。当上期は140名の社員が試験に合格し、平成25年9月30日現在、総勢310名の社員が資格を保有しています。今後とも、ユニットハウスの付加価値向上を目指すとともに、社員の能力向上に努めていきます。

# 連結財務諸表

## 四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位:千円)

	第45期第2四半期 (平成25年9月30日)	第44期末 (平成25年3月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>9,776,655</b>	<b>11,088,700</b>
現金及び預金	1,545,434	2,325,300
受取手形	1,107,687	1,425,972
営業未収入金	3,174,691	3,076,499
売掛金	873,453	1,206,359
棚卸資産	2,327,459	2,328,343
その他	768,997	759,402
貸倒引当金	△ 21,069	△ 33,177
<b>固定資産</b>	<b>33,838,510</b>	<b>29,211,946</b>
有形固定資産	32,826,116	28,271,426
レンタル資産	18,119,068	15,245,885
建物	3,581,108	2,217,046
土地	9,260,888	9,260,888
その他	1,865,049	1,547,605
無形固定資産	207,270	199,226
投資その他の資産	805,124	741,293
<b>資産合計</b>	<b>43,615,166</b>	<b>40,300,647</b>

(単位:千円)

	第45期第2四半期 (平成25年9月30日)	第44期末 (平成25年3月31日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	<b>13,917,703</b>	<b>15,706,476</b>
支払手形	196,516	253,685
買掛金	4,773,264	4,828,469
短期借入金	4,067,996	5,758,000
未払費用	1,939,176	2,039,285
未払法人税等	713,133	782,645
賞与引当金	353,846	335,653
その他	1,873,770	1,708,736
<b>固定負債</b>	<b>9,191,433</b>	<b>4,553,534</b>
長期借入金	8,160,338	3,596,000
退職給付引当金	551,307	510,549
役員退職慰労引当金	181,466	178,341
その他	298,320	268,643
<b>負債合計</b>	<b>23,109,137</b>	<b>20,260,011</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>	<b>20,458,339</b>	<b>20,042,913</b>
資本金	1,545,450	1,545,450
資本剰余金	2,776,663	2,776,663
利益剰余金	16,444,913	16,028,503
自己株式	△ 308,687	△ 307,703
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>47,689</b>	<b>△ 2,277</b>
その他有価証券評価差額金	3,997	4,441
為替換算調整勘定	43,691	△ 6,719
<b>純資産合計</b>	<b>20,506,028</b>	<b>20,040,635</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>43,615,166</b>	<b>40,300,647</b>

## 四半期連結損益計算書(要旨)

(単位:千円)

	第45期第2四半期 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	第44期第2四半期 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	12,467,766	11,688,227
売上原価	7,425,482	6,800,274
売上総利益	5,042,283	4,887,953
販売費及び一般管理費	3,565,936	3,192,425
<b>営業利益</b>	<b>1,476,346</b>	<b>1,695,528</b>
営業外収益	43,039	152,570
営業外費用	83,662	60,549
<b>経常利益</b>	<b>1,435,724</b>	<b>1,787,549</b>
特別利益	—	5,980
特別損失	6,146	10,505
<b>税金等調整前四半期純利益</b>	<b>1,429,577</b>	<b>1,783,024</b>
法人税等	679,669	742,109
<b>少数株主損益調整前四半期純利益</b>	<b>749,908</b>	<b>1,040,915</b>
<b>四半期純利益</b>	<b>749,908</b>	<b>1,040,915</b>

## 四半期連結包括利益計算書

(単位:千円)

	第45期第2四半期 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	第44期第2四半期 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	749,908	1,040,915
その他の包括利益	49,966	2,566
<b>四半期包括利益</b>	<b>799,875</b>	<b>1,043,482</b>

## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:千円)

	第45期第2四半期 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	第44期第2四半期 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,513,835	△ 4,083,510
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,779,520	△ 633,204
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,499,331	1,813,160
現金及び現金同等物に係る換算差額	14,158	△ 158
現金及び現金同等物の増減額	△ 779,865	△ 2,903,713
現金及び現金同等物の期首残高	2,145,300	5,157,993
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,365,434	2,254,280

## 企業の概要 (平成25年9月30日現在)

商号	三協フロンテア株式会社	
本社所在地	〒277-8539 千葉県柏市新十余二5番地	
資本金	15億4,545万円	
代表者	代表取締役社長 長妻 貴嗣	
設立	昭和44年12月5日	
事業内容	1. ユニットハウスの製造・販売・レンタル 2. トランクルームの製造・販売・レンタル 3. 立体式駐車装置の製造・販売・レンタル	
役員	取締役会長	長妻 和男
	代表取締役社長	長妻 貴嗣
	常務取締役	端山 秀人
	取締役執行役員	小嶋 俊一
	取締役執行役員	三戸 茂夫
	取締役執行役員	小島 豊
	常勤監査役	村井 康之
	監査役	上田 俊郎
	監査役	重田 龍男
	監査役	山崎 直人

特定建設業許可 国土交通大臣許可(特-20)第18154号  
一級建築士事務所登録 千葉県知事登録1-1204-1483号

## 株式の状況 (平成25年9月30日現在)

会社が発行する株式の総数	60,000,000株
発行済株式の総数	23,356,800株
1単元の株式の数	1,000株
株主数	1,265名 (平成25年3月末比41名減)

### 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
(有)和幸興産	9,733	41.67
長妻 貴嗣	3,314	14.19
長妻 和男	2,148	9.20
三協フロンテア従業員持株会	315	1.35
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	200	0.85
三菱UFJ信託銀行(株)	200	0.85
(株)千葉銀行	195	0.83
長妻 幸枝	180	0.77
個人株主	176	0.75
日本生命保険相互会社	162	0.69

※当社は自己株式を1,124千株保有していますが、上記大株主からは除外しています。

## 株主メモ

事業年度  
4月1日～翌年3月31日

定時株主総会  
毎年6月

期末配当金受領株主確定日  
3月31日

中間配当金受領株主確定日  
9月30日

株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関  
三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号  
電話 0120-232-711(フリーダイヤル)

公告の方法  
電子公告(URL <http://www.sankyofrontier.com/>)  
※ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。

上場証券取引所  
東京証券取引所JASDAQ市場

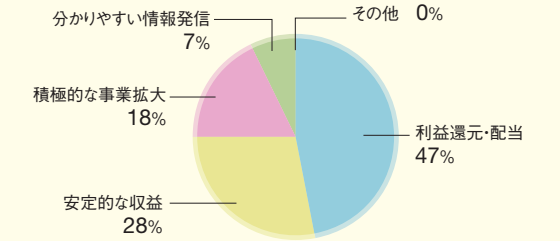
### (ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。
- 平成25年7月16日付の東京証券取引所と大阪証券取引所の合併により、当社普通株式は東京証券取引所JASDAQ市場に上場されております。

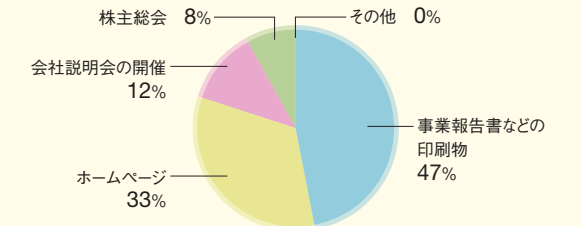
## アンケート結果のご報告

「第44期 年次報告書」で実施した株主様アンケートの集計結果をご報告します。163名の株主の皆様からご回答をいただきました。厚く御礼申し上げます。株主の皆様からいただいたご意見を真摯に受け止め、今後の経営方針やIR活動の参考にしてまいります。

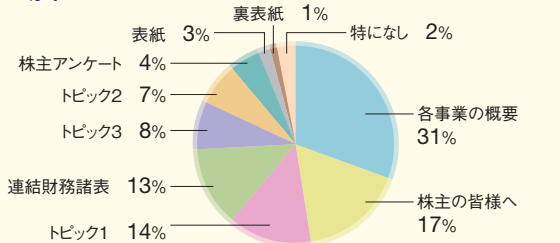
### Q1 今後、当社に望まれることについてお聞かせください。 (複数回答)



### Q2 今後、当社のIR活動について、充実してほしいことをお聞かせください。



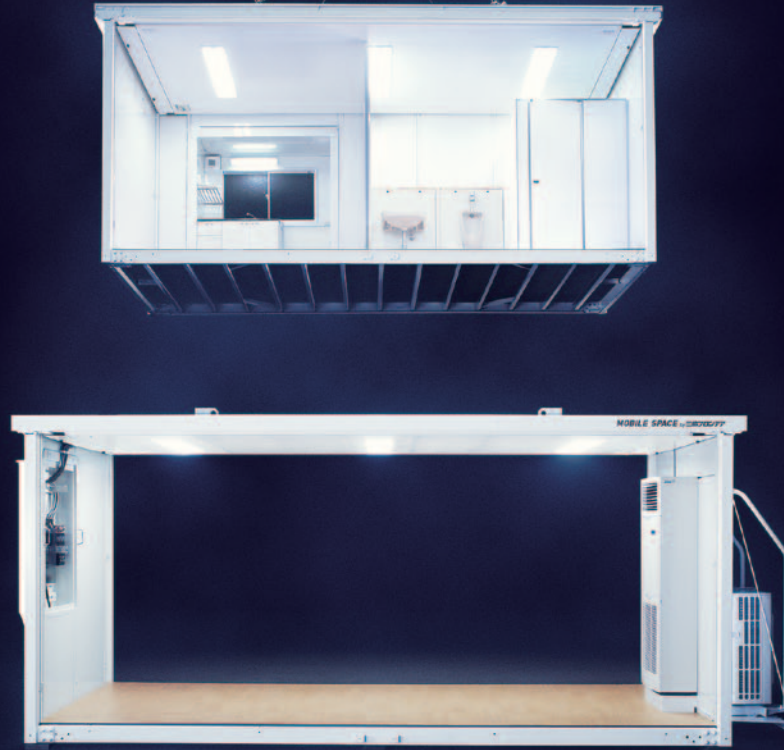
### Q3 事業報告書の内容で最も興味深かった内容は何ですか? (複数回答)



## 当社ホームページのご案内

今後とも、事業報告書やホームページの充実を図り株主の皆様方へ分かりやすい情報提供を心がけてまいります。

<http://www.sankyofrontier.com/>



たとえば、お店を自由に動かすことができれば。もっと気軽に、スピーディに、ビジネスができる。たとえば、オフィスを自由に増築・撤去することができれば。もっとフレキシブルに、低リスクで、経営ができる。「建物は動かない」という常識から自由になると、空間の新たな価値が見えてくる。そんな発想から生まれたのが、すぐに動かせる空間 = **MOBILE SPACE** です。必要なとき、必要な場所に、必要な機能を携えて届く、建てない建物。それは、街を動かし、世の中を動かす可能性が詰まったプロダクトなのです。

# 空間が動く、世の中が動き出す。

**MOBILE SPACE** by 三協フロンティア